

年度 2009 前期	曜日・校時 火2	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(美術・絵画の魅力) Language and Art (Art・Impression of Pictures)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室 102番教室	
対象学生(クラス等) 1・2年次	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) 担当教員:木下 信義 /Eメールアドレス:nobukino@nagasaki-u.ac.jp /研究室:教育学部新館450 /TEL095-819-2367 /オフィスアワー:毎週月曜日 15:00~16:30			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標  <p>授業のねらい:西洋画を鑑賞しながら、作者の生き方や時代背景などを知るとともに、その絵のよさや美しさや表現の内容などを味わい、感じ取ることにより美的感覚や美的思考力を高める。また、西洋画に関する知識を深め、絵画に関する感性を高めるとともに、自分の感じたことや理解したことを発表したりミニレポートにまとめたりすることにより表現力と伝達能力を養う。</p> <p>授業方法:主にルネサンスから20世紀までの著名な絵画のビデオ教材などを鑑賞し、参考資料を基にした講義によって、絵画の美しさや表現されている内容を感じ取り、作者・時代背景などを知る。また、感じ取ったり調べたことを、毎時間ミニレポート形式でまとめる、とともに感想やまとめを発表する。(毎時間に「授業の感想・記録」を書き提出する)併せて、絵画を3回程度模写の体験することにより、絵画のよさを理解する。</p> <p>授業到達目標:①絵画のよさや美しさを感じ取った内容を文字や言語で表現できる。②画家の生き方考え方や時代背景などを理解し文字や言語で表現できる。③絵画のよさや美しさが現代人を感激・感動させる内容をレポートで説明できる。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要)  <p>第1回:オリエンテーション、ルネサンス期の絵画を鑑賞し、画家の活動状況や時代背景を理解する。  第2回:ルネサンス期の絵画を鑑賞し、画家の活動状況や時代背景を理解する。  第3回:オランダの17世紀のレンブラント、フェルメールの絵画を鑑賞し、その特徴などを理解する。  第4回:レンブラントやフェルメールなどの絵画を模写する。  第5回:フランスの19世紀末のミレー、スーラの絵画を鑑賞し、その特徴などを理解する。  第6回:スペインの17世紀のベラスケス、グレコ等の絵画を鑑賞し、その特徴などを理解する。  第7回:オーストリアの19世紀末のクリムト等の絵画を鑑賞し、その特徴などを理解する。  第8回:フランスのエコール・ド・パリのコトリロ、モディリアーニの絵画を鑑賞し、画家の生き方を知る。  第9回:ゴッホの絵画を模写する。  第10回:ゴッホの絵画を鑑賞し、画家の生き方を知る。  第11回:フランス後期印象派のセザンヌ、ゴーガンの絵画を鑑賞し、画家の生き方を知る。  第12回:フランス印象派のモネ、ルノワールの絵画を鑑賞し、その時代の科学の影響を理解する。  第13回:女性画家のマリー・ローランサン等の絵画を鑑賞し、その魅力の色などを理解する。  第14回:ピカソの絵画を鑑賞し、表現の変化や表現の意味を考察する。  第15回:日本の20世紀の藤田嗣治の絵画を鑑賞し、時代背景と画家の生き方を知る。この授業のまとめをする。</p>			
キーワード	美的感覚で絵画を理解する。知的感覚で絵画を理解する。自分の美的・知的感覚を磨く。模写により絵のよさを体験する。		
教科書・教材・参考書	教科書:『西洋絵画史WHO, S WHO』諸川春樹監修、発行:株式会社美術出版社 教材:出身中学校・高等学校で使用した美術の教科書 小中学校で使用した水彩用具一式		
成績評価の方法・基準等	○最終レポートor 定期テスト50%○毎授業のミニレポート25%○毎授業の積極的な取組状況25% ①視覚的感覚を働かせ絵画のよさや美しさを感じ取り、文字で表現できる。模写ができる。 ②知的感覚を働かせ作品のよさや時代背景を理解し、それを表現できる。 ③15回の授業で学習した内容を基に、絵画のよさや美しさについて自分の考えをレポートにまとめることができる。 ④毎授業で、作品のよさや美しさを鑑賞したり、作品に関する情報を収集したりして、発表し、ミニレポートにまとめることができる。		
受講要件(履修条件)	・絵画の鑑賞に関心があること。 ・上記教科書を購入すること。・模写時に水彩用具を準備すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	・西洋絵画を鑑賞することを通して、美的感覚を高めるとともに、絵画に関する知識や画家に影響した時代背景などを理解しながら、人間としての豊かな感性を身に付ける。		
備考(準備学習等)	第2回から、課題として、学習対象の画家・作品等を連絡するので、事前学習をして受講すること、また、図書館などで借りた画集などを持参すること。		